

うえるがむ + ながはま ⑥ —まちの外国人さん—

長浜市に住む外国出身の方を紹介するコーナー。
今回は、市民広報員の池田猛治さんと戸田雄一さんに取材していただきました。



嶋津
蓉さん
(中国)

子どもたちのことを思って

今回は、中国の上海出身で日本に帰化された嶋津蓉さんを紹介します。

○いつから長浜に 1993年、結婚をきっかけに
○ご家族は 主人と私と2人の子どもの4人です。
○日本語がお上手ですが、どこで勉強をされましたか

日本語は日本に来てから勉強しました。中でも、国際文化交流ハウス（神照町）の日本語教室で教えていただいたのが、とても役に立ちました。

○帰化されようと思ったのは

どこに住んでいても、中国人でも日本人でも、一人の人間としては変わらないし、家族のことも

考えて、帰化することにしました。

○今の暮らしの中で一番気になることは

やはり気になるのは子どもたちへの教育ですね。中国では親の言うことは聞かなくても先生の言うことは聞くというくらい厳しかったです。そこまですとは言いませんが、もっと厳しくていいのではないかと思います。

○これからやってみたいことは

中国で美術の勉強をしていたので、地域の子どもたちに絵を教えながら、中国語も教えられたらいいなと思っています。また、子どもたちだけでなく、私自身も日本語能力検定試験（1級）の合格をめざして頑張ろうと思っています。



中国の歴史や文化にふれて
上海動物園のパンダの前で

《取材を終えて》

子どもたちの教育に対する熱い思いや、自らも試験を受けたり、中国語教室を開こうと考えたりする姿勢に感動しました。また、子どもたちや家族を思う気持ちは万国共通なんだということを改めて感じました。

ぶらり わがまち ⑩



子どもから高齢者まで楽しく遊べる 「浅井文化スポーツ公園」(大依町)

国道365号線沿い、福良の森の隣にある浅井文化スポーツ公園。昭和61年から事業に着手、最初にテニスコートが完成して以来、平成8年に屋内ゲートボール場が完成するまで、約10年

の歳月をかけて、多くの施設が整備されました。

緑に囲まれた約180haの広大な敷地内には、お市マラソンのスタート・ゴールとなっている日本陸連第4種公認の陸上競技場（ふれあいグラウンド）や、全天候型のテニスコート（7面）に野球場、プール、体育館などのスポーツ施設があります。また、地域の歴史や文化を学ぶゾーン「お市の里」には、図書館や歴史民俗資料館などの文化施設もあります。

最近では、高齢者の健康づくりにも役立つ大型遊具も整備され、おじいちゃん・おばあちゃんとお孫さんが一緒に楽しく遊べる場所もできたので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



6月10日にオープンする
B&G海洋センターのプール

施設の利用等のお問合せは、(財)浅井文化スポーツ事業団(☎43355)へ。



5/10(木)

きれいな歌声を聴き、感性を磨く

毎年、県内の小学校を巡回されている「びわ湖ホール声楽アンサンブルコンサート」。今年は市内の4つの小学校にやってきました。会場に響き渡る美しい歌声、迫力に全校生徒が感動。一同で合唱する一幕もありました。(長浜北小学校で)



5/19(土)

中学生が土曜学び座の先生役に

北郷里公民館で開催された土曜学び座の「紙ねんどでマスコットづくり」。今回は、びわ中学生が先生役として参加しました。年齢が近いこともあり、わきあいあいとした中で、おもしろい作品がたくさんできあがりました。



5/19(土)
5/20(日)

4,000人がウォーキング

今年で15回目を迎えた「びわ湖長浜ツーデーマーチ」。2日間とも晴天に恵まれ、深緑がまばゆい豊公園をスタート・ゴール地点として4,006人が湖北の自然や歴史・文化を満喫しながら完歩されました。



このコーナーでは、市民のみなさんの活動の様子や、まちで見かけたほっとな話題をご紹介します。

5/20(日)



ふるさとの歴史と自然を体験

千日回峰行の創始者、相応和尚をしのび毎年開催されている「一日回峰行」。小さな子どもたちも参加されていましたが、全員ケガもなく、無事修行を終えられました。

